



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日
東・福

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所
コード番号 2924 URL <http://www.ifuji.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 宗徳
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561
四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	11,068	10.2	446	11.4	464	11.5	307	△6.4
27年3月期第3四半期	10,042	8.7	400	20.1	416	17.4	328	38.2

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 322百万円(△2.9%) 27年3月期第3四半期 332百万円(37.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	36.94	—
27年3月期第3四半期	39.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	9,950	4,320	43.4
27年3月期	8,392	4,106	48.9

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 4,320百万円 27年3月期 4,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
28年3月期	—	7.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,371	1.8	645	24.9	640	20.4	419	8.1	50.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	8,345,370株	27年3月期	8,345,370株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	14,212株	27年3月期	13,562株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	8,331,351株	27年3月期3Q	8,332,197株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安による企業業績の改善や企業の設備投資の増加が見られるものの、賃金の伸び悩みなどから個人消費の持ち直しの動きが弱まり、また海外の経済状況に不透明感が見られるなど、回復基調が足踏み状態となっております。

食品業界におきましては、円安や消費税の増税の影響等により商品の値上げが続いており、消費者の生活防衛意識が強まりつつあります。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、鶏卵関連事業において販売数量が順調に推移したこと及び鶏卵相場高により原価が高くなったため価格改定を行ったこと、また調味料関連事業において新規顧客の獲得により販売が増加したこと等により、前年同期比10.2%増の11,068百万円となりました。

損益につきましては、鶏卵関連事業、調味料関連事業ともに販売が好調だったことにより営業利益は同11.4%増の446百万円、経常利益は同11.5%増の464百万円となりました。なお、前第3四半期連結累計期間で計上した子会社株式売却益（特別利益）が当第3四半期連結累計期間では発生しなかったこと等もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は同6.4%減の307百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、販売価格及び原料仕入価格が相場に連動して変動するものが多く、鶏卵相場が高く推移した場合は売上高、仕入高ともに増加し、低く推移した場合は売上高、仕入高ともに減少する傾向にあるため、販売価格と仕入価格の差益を一定額以上確保する努力をしております。

当セグメントの売上高につきましては、鶏卵相場（全農東京M基準値）が前年同期比7.5%（約16円）高く推移したことや販売数量が順調に推移したこと等により、液卵売上高は前年同期比11.2%増の9,546百万円となりました。また、加工品売上高は同10.7%増の397百万円、その他売上高は同5.7%増の198百万円となりました。この結果、合計の売上高は、同11.1%増の10,142百万円となりました。

セグメント利益につきましては、凍結製品の在庫の増加による保管料等の費用の増加はあったものの、販売数量の増加や価格改定による売上高の増加等により、前年同期比11.9%増の373百万円となりました。

②調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、ブレンドラインのリニューアルによる新規顧客の獲得等により前年同期比10.7%増の977百万円となりました。

セグメント利益につきましては、上記のとおり売上高が増加したこと等により、前年同期比22.6%増の65百万円となりました。

③その他

当セグメントの売上高につきましては、前期に連結子会社を売却したことにより賃貸料収入が無くなったことから前年同期比45.7%減の16百万円となり、セグメント利益は同47.0%減の7百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は9,950百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,557百万円増加しました。

流動資産は5,674百万円となり前連結会計年度末に比べ1,359百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加1,100百万円、商品及び製品の増加194百万円等によるものであります。

固定資産は4,275百万円となり前連結会計年度末に比べ197百万円増加しました。主な要因は、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定の増加371百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は5,629百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,343百万円増加しました。

流動負債は3,683百万円となり前連結会計年度末に比べ921百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加563百万円、短期借入金の増加508百万円、未払法人税等の減少198百万円等によるものであります。

固定負債は1,946百万円となり前連結会計年度末に比べ421百万円増加しました。主な要因は、長期借入金の増加427百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は4,320百万円となり、前連結会計年度末に比べ213百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益307百万円の計上及び配当金の支払い108百万円により利益剰余金が199百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の48.9%から43.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月7日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、
第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,633	1,641
受取手形及び売掛金	1,821	2,922
商品及び製品	534	728
仕掛品	49	53
原材料及び貯蔵品	232	297
繰延税金資産	28	10
その他	20	28
貸倒引当金	△6	△8
流動資産合計	4,314	5,674
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,102	1,028
機械装置及び運搬具（純額）	912	800
土地	1,886	1,886
その他（純額）	38	408
有形固定資産合計	3,939	4,124
無形固定資産	34	30
投資その他の資産		
投資有価証券	74	100
その他	41	32
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	103	121
固定資産合計	4,077	4,275
資産合計	8,392	9,950

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	585	1,148
短期借入金	1,394	1,903
未払法人税等	218	19
未払消費税等	43	54
賞与引当金	60	32
役員賞与引当金	—	14
その他	458	509
流動負債合計	2,761	3,683
固定負債		
長期借入金	866	1,294
長期末払金	567	567
繰延税金負債	63	62
その他	26	21
固定負債合計	1,524	1,946
負債合計	4,286	5,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	3,270	3,469
自己株式	△5	△5
株主資本合計	4,086	4,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	34
その他の包括利益累計額合計	19	34
純資産合計	4,106	4,320
負債純資産合計	8,392	9,950

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	10,042	11,068
売上原価	8,481	9,432
売上総利益	1,560	1,635
販売費及び一般管理費	1,160	1,189
営業利益	400	446
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
負ののれん償却額	18	—
受取賃貸料	4	13
建設協力金免除益	—	14
その他	6	3
営業外収益合計	30	33
営業外費用		
支払利息	14	14
その他	—	0
営業外費用合計	14	15
経常利益	416	464
特別利益		
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	1	—
子会社株式売却益	55	—
補助金収入	—	10
特別利益合計	58	10
特別損失		
固定資産除売却損	4	0
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益	470	474
法人税、住民税及び事業税	154	156
法人税等調整額	△12	10
法人税等合計	142	166
四半期純利益	328	307
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	328	307

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	328	307
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	3	14
その他の包括利益合計	3	14
四半期包括利益	332	322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	332	322
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,128	883	10,011	31	10,042
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	—	0
計	9,128	883	10,011	31	10,042
セグメント利益	333	53	387	13	400

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	387
「その他」の区分の利益	13
四半期連結損益計算書の営業利益	400

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,139	911	11,051	16	11,068
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	65	68	—	68
計	10,142	977	11,119	16	11,136
セグメント利益	373	65	439	7	446

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	439
「その他」の区分の利益	7
四半期連結損益計算書の営業利益	446

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。